

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和3年4月19日（月）

2 確認箇所

6号機タービン建屋及びコントロール建屋地下階

3 確認項目

- (1) 6号機タービン建屋滞留水の状況
- (2) 6号機電気品室内床面からの地下水のにじみの状況

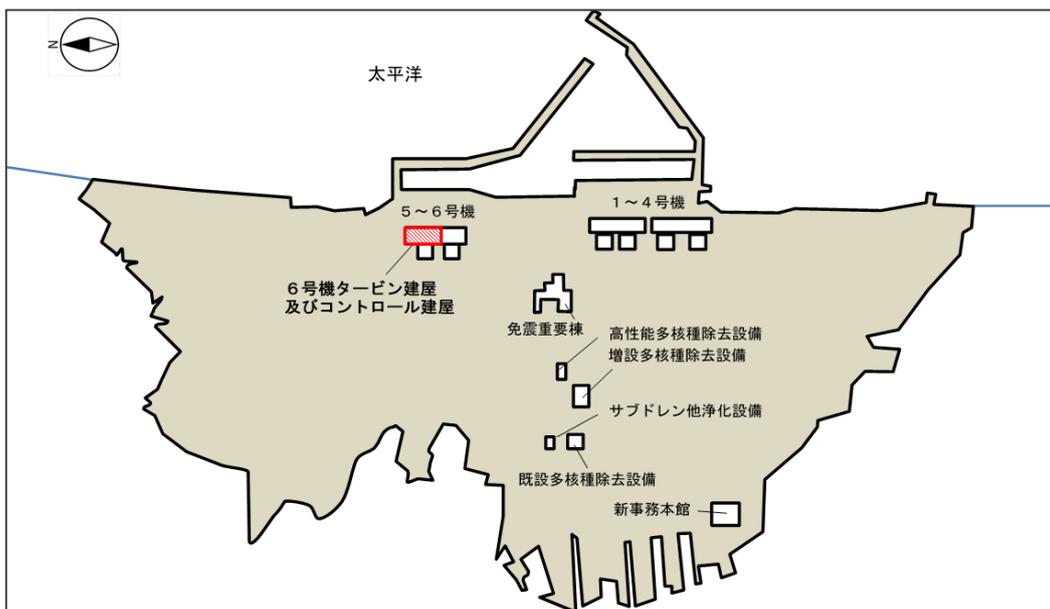
4 確認結果の概要

(1) 6号機タービン建屋滞留水の状況について

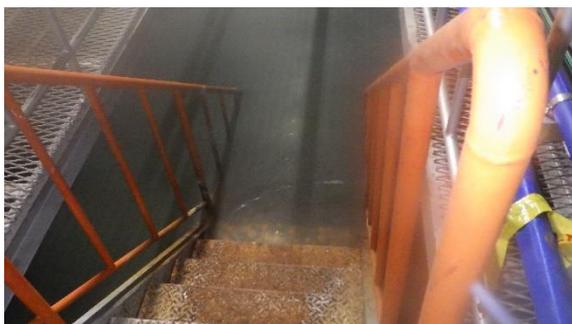
東日本大震災以降、5/6号機建屋周辺の地下水をくみ上げるための設備であるサブドレン設備が稼働を停止していることから、建屋周辺の地下水位が高い状況が継続している。このため、5/6号機建屋地下には常に地下水が流入していることから、6号機タービン建屋地下階の滞留水の状況を確認した。（図1）（前回確認：[令和2年9月9日](#)）

なお、5/6号機建屋地下階の滞留水については、5/6号機滞留水処理設備で浄化処理を行った後に構内に散水されている。

- ・現地確認時、滞留水の水位は前回確認時と同様（床面+約1.2m）であり、東京電力が設定した管理値（床面+約2m以下）内であった。（写真1）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
6号機タービン建屋地下階の滞留水の状況
(前回撮影：令和2年9月9日)



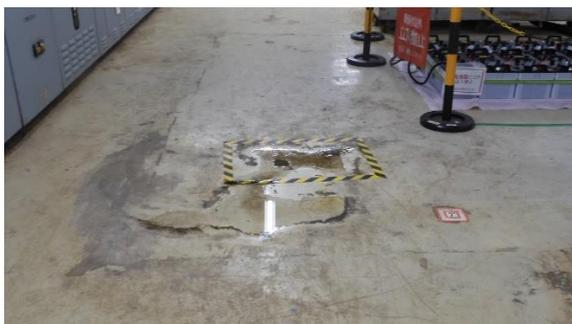
(写真1-2)
6号機タービン建屋地下階の滞留水の状況
(今回撮影：令和3年4月19日)

(2) 6号機電気品室内床面からの地下水のにじみの状況について

令和2年9月18日のパフォーマンス向上会議[※]にて、6号機コントロール建屋地下階の電気品室床面に亀裂とにじみ程度の湧水があることが報告されていることから、現場の状況を確認した。(図1) (前回確認：[令和2年10月23日](#))

- ・前回確認時に水溜まりが確認された箇所は、溜まり水の量は減少していたが、若干湿っていた。(写真2)
- ・東京電力によると、床面の亀裂からの湧水が比較的少ない状況であることから、補修工事により周囲の機器等に影響を与えない工法を検討しているとのことであった。

※ 東京電力が実施する不適合を審議する会議。安全性・信頼性に関する重要度及び社会への影響を考慮して不適合を3つのグレードに分類し、不適合管理を行っている。本件はグレードⅢ(修正処置などを伴う事象)に分類されている。



(写真2-1)
電気品室床面の湧水の状況
(前回撮影：令和2年10月23日)



(写真2-2)
電気品室床面の湧水の状況
(今回撮影：令和3年4月19日)

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。